

0.1 latex テ ス ト

0.1.1 listings.sty, jlisting を用いたソースコードの参照

次のコードのように直接記述することができる

ソースコード 1 test

```

1 Print("Hello World!")
2 def add(a, b):
3     return a + b
4 c = add(1, 2)

```

もしくは、`\lstinputlisting{filepath}`を用いて外部ファイルを参照することができる。

ソースコード 2 sim01_simple.py

```

1 class Person:
2
3     def __init__(self, name): # クラスが呼び出されたときに発動(initialize)。
4         # __init__は Python で最初から定義されている。
5         self.name = name # 自分の名前
6
7     def behave(self): # 1ステップで行う, 一連の行動。
8         # 自分の名前を print する %s のところに self.name を代入している。
9         print('My name is %s' % self.name)
10
11
12 def simulation():
13     ### シミュレーション準備 ###
14     person = Person("Yasuda") # 人を設定
15     time = -1
16     ### シミュレーション開始 ###
17     while time < 3: # 時間が 3以上のときに False となってループが終了する。
18         time += 1
19         print('time:%d' % time)
20         person.behave() # メソッド behave を実行する
21     else: # while ループの条件式が False を返したとき (while ループ終了時) に発動
22         print('time:%d, finished' % time)
23
24 if __name__ == '__main__': # このスクリプト自体が実行されたときにのみ以下を実行
25     simulation()

```
